

施策	7201 愛着と誇りの醸成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	市民一人ひとりが栃木市に住んで良かったと実感し、栃木市に愛着と誇りを持って住み続けることが出来るようにするような事業を推進を図る。							
成果指標	市PR冊子設置箇所数・・・300箇所 市サポーター数・・・・・・100人 とち介市内派遣数・・・・・・550回							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [箇所]	予定	150.00	180.00	230.00	260.00	300.00	
		実績	155.00					
	成果指標2 [人]	予定	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	
		実績	38.00					
		単位コスト	497.53					
	成果指標3 [回]	予定	460.00	480.00	520.00	540.00	550.00	
		実績	472.00					
		単位コスト	40.06					
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	19,810	31,854	27,050	0	0	
		実績	18,906	31,854	27,050	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策が目指す、市民が本市の魅力を知り住んで良かったと実感してもらうために、本施策の貢献度は高い。						
	達成状況	本施策の各成果指標については年度の目標を達成している。特に市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣は、全ての派遣依頼に対応しきれないくらい好評である。						
	課題	本施策の各成果指標及び下位の事務事業の結果指標ともに目標達成となっているが、さらなる事業の掘り起こしや庁内の連携強化が必要と考える。						
	取組方針	令和元年より下位のシティプロモーション事業費を3つに細分化し、それぞれの事務事業に成果指標を設定するとともに、上記課題の検証を行っていく。						
外部評価	成果指標である「市PR冊子設置箇所数」、「市サポーター数」、「とち介市内派遣数」は目標値を上回っている。特に市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣については派遣依頼に対応しきれないほど好評であることは喜ばしいことであるが、実際にこれらの事業によってどれくらいの経済効果があったのかを成果指標としてもよいのではないかと。 市のホームページに掲載されている「とち介のグッズ」の一覧には、数多くの商品があるが、なかには販売が終了しているものも掲載されているので掲載する商品の精査をお願いしたい。							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	736201	シティプロモーション事業費				18,906	100	
	780701	市民憲章制定事業費					0	
	787101	ゆる栃くらすた支援業務委託費					0	
	787201	シティプロモーション行動計画策定事業費					0	

単位施策評価表 補表

施策	7201 愛着と誇りの醸成		
区分	妥当性	妥当	本市のPRを行うことで市民の郷土愛を育めることから妥当であるとする
	コスト削減の余地	有	下位事務事業についてコスト削減の余地はあるとする
	受益者負担	適正	受益者負担は適正であるとする
	上位貢献度	有効	上位基本施策への貢献度は高く施策は有効であるとする
	類似事業の有無	無	類似事業はない
	成果向上の余地	有	成果の向上の余地は十分あるとする
内部評価	貢献度	基本施策が目指す、市民が本市の魅力を知り住んでよかったと実感してもらうために、本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	本施策の各指標は順調に推移しているが、下位の事務事業の目標との整合性や新たな事業の掘り起こしを検証する必要があると思われる。	
	課題	本施策の各指標は順調に推移しているが、市サポーター数やとち介の派遣数などについては、今後、事業の見直しを行うなかで右肩上がりの目標設定ではなく、サポーターの活動の頻度や質の向上が重要になる可能性もあり、目標数が妥当かを検証する必要があると思われる。	
	取組方針	これまで市外に向けたプロモーションに注力してきた傾向があるが、市民に対しても、市の魅力の再認識や新たな魅力の発見などを通じて、市民としての愛着や誇りの醸成を図る取り組みが必要と考えている。	